

製品安全データシート

整理番号 2AL6832

作成日 2021/2/25

1. 化学品(物質/中間品)及び会社情報

製品名: コージー ネイリスト クイックスムージングベース
用途: メークアップ製品、ネイルケア製品

会社名: 株式会社コーギー本舗
住所: 東京都台東区松が谷2-26-1
電話番号: 03-3842-0226
FAX番号: 03-3845-1572
担当部署: 商品開発本部 研究開発課
電話番号: 0473-27-2867
FAX番号: 0473-27-2730

2. 危険有害性の要約

物理化学的危険性: 引火性液体 区分2
健康に対する有害性: 急性毒性(経口) 区分5
急性毒性(経皮) 区分5
急性毒性(吸入・蒸気) 区分3
急性毒性(吸入・ミスト) 区分3
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 2A-2B
生殖毒性 区分2
特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分1(中枢神経系・肝臓・脾臓)

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(呼吸器)
吸引性呼吸器有害性 区分3(気道刺激性・麻酔作用)
水生環境急性有毒性 区分2(血管・肝臓・脾臓)
環境に対する有害性: 区分3
注意喚起語: 危険
危険性有害性情報: 引火性の高い液体及び蒸気
飲み込むと有害
呼吸器への刺激のおそれ、または眠気及びめまいのおそれ
皮膚刺激
眼への刺激

注意書き:

【安全対策】 容器を密閉しておくこと。
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。-禁煙
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
環境への放出を避けること。

【応急措置】

火災の場合: 乾燥性化学粉末・耐アルコール性泡・炭酸ガス・砂・土を用いて消火すること。
一般措置: 何らかの症状があり、また症状が持続する時は医師の診断/手当てを受けること。

吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚等に付着した場合: 皮膚を多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを使用していて容易に外せる場合は外し、洗浄すること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合: 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
無理に吐かせないこと。

口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。

【保管】

涼しく換気のよい場所で保管すること。

【廃棄】 内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託する。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別: 混合物

危険性に起因する成分:

	含有量(Wt%)	CAS No.	危険品等級	PRTR情報
酢酸ブチル	15-65	123-86-4	Ⅲ	
酢酸エチル	15-55	141-78-6	Ⅱ	
イソプロパノール	2-15	67-63-0	Ⅱ	

国連番号 1263: 塗料又は塗料関連物質(マニキュア)

4. 応急措置

一般処置:	疑わしい全てのケースにおいて、また症状が持続するときは医師に相談する。 意識を失った人には、口から何も与えてはいけない。
大量に吸入した場合:	静かな場所に移動し、横たわせる。 新鮮な空気を吸わせる。 必要な場合、医師の診断を受けさせる。 必要に応じ、人工呼吸や酸素吸入を行う。
皮膚に触れた場合:	炎症等の異常が見られた場合は医師の診察を受ける。
目に入った場合:	コンタクトレンズ等を外し、目を大きく開き、大量の水で(最低20分間)洗う。 異常が見られる場合には速やかに医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合:	無理に吐かせずに、水で良く口の中をすすぎ、安静にする。 必要に応じ医師の診察を受ける。

5. 火災時の措置

適切な消火剤:	乾燥性化学粉末・耐アルコール性泡・炭酸ガス・乾燥砂
不適切な消火剤:	水の棒状噴射
特定の消火方法:	可能であれば火災区域から容器を移動する。
特定の危険性:	蒸気爆発の危険性 蒸気は空気より重く、地面の上を広がる。 火災時、製品は一酸化炭素、二酸化炭素及び煙に分解される。
消火活動用保護具:	消火活動用呼吸機器、消火活動用保護スーツ

6. 漏出時の処置

人に対する注意事項:	安全な場所に避難する。 全ての着火源を取り除く。 十分な換気をする。 目、着衣への付着を避ける。
環境に対する注意事項:	可能であれば、漏洩を止める。 塞き止め、漏洩物を吸収させる。 爆発災害が起こる可能性があるため、排水溝や下水道へ流入させない。
洗浄方法:	ウェス等で漏洩物をふき取る。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
注意事項:	目への接触を避け、蒸気やミストを吸い込まないこと。 蒸気は空気より重く、床の上を広がる。 蒸気は空気と混ざり、爆発形成可能性がある。
技術的側面:	局所廃棄装置は、蒸気が作業場の空気に混ざることが予想される場所に必要とされる。
安全な取扱い方法:	容器を固く密閉する。 熱源、火花や炎を除外する。 開封した容器は注意深く密閉する。 漏えいしないよう垂直に保管する。
保管	
注意事項:	許可を受けた者のみ出入りできる場所に保管する。 直射日光を避け、高温にならないところに保管する。 火気、熱源からできるだけ遠ざける。 容器を固く密閉する。
技術的側面:	消防法の規則を準拠する。

混触危険物質： 強酸、強塩基、酸化剤
不適切な梱包材質： 本品で溶解するプラスチックは避ける。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度： 150ppm(酢酸ブチル)、200ppm(酢酸エチル、イソプロパノール)
許容濃度： ACGIH
TWA 150ppm(酢酸ブチル)
TWA 400ppm(酢酸エチル)
TLV-TWA 200ppm A4(イソプロパノール)
設備対策： 暴露ガイドライン/限度以下に制御するための十分な耐曝露換気装置。
保護具
呼吸器の保護： 必要に応じ、適切な呼吸器保護具を着用する。
手の保護： 必要に応じ、適切な保護手袋を着用する。
眼の保護： 必要に応じ、適切な保護眼具を着用する。
皮膚や体の保護： 必要に応じ、適切な保護衣を着用する。
衛生対策： 職場の衛生・安全基準に従って作業する。

9. 物理的及び化学的性質

外観等： 無色又は着色された粘性のある液体、特有の臭い、揮発性
溶解性： 非水溶性
比重： 0.95 ～ 1.50(水=1)
引火点： 28℃(酢酸ブチル)、-3℃(酢酸エチル)、12℃(イソプロパノール)
発火点： 425℃(酢酸ブチル)、427℃(酢酸エチル)、460℃(イソプロパノール)
爆発限界： 1.4～7.5 Vol.%(酢酸ブチル)
2.2～11.4 Vol.%(酢酸エチル)
2.0～12.7 Vol.%(イソプロパノール)

10. 安定性及び反応性

安定性： 7項で規定した取扱いと保存において安定。
危険有害な分解生成物： 空気/蒸気の爆発性混合気体を生じることがある。

11. 有害性情報

急性毒性
吸引： LC50/吸引/6h/ラット=酢酸ブチル=0.74-38mg/ℓ
LC50/吸引/6h/ラット=酢酸エチル=16,000ppm
LC50/吸引/8h/ラット=イソプロピルアルコール=20,000ppm
経皮： LD50/皮膚/ラビット=酢酸エチル≥18,000mg/kg
LD50/皮膚/ラビット=酢酸ブチル≥14,100mg/kg
LD50/皮膚/ラビット=イソプロピルアルコール=13,000mg/kg
目接触： 目刺激有り(痛み、充血)
経口： LD50/経口/ラット=酢酸エチル=5,620～10,200mg/kg
LD50/経口/ラット=酢酸ブチル=>10,000mg/kg
LD50/経口/ラット=イソプロピルアルコール=4,400～7,800mg/kg

12. 環境影響情報

水生環境急性毒性： 区分3 水生生物に有害(酢酸ブチル)

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物： 関連法規並びに自治体の基準に従って処理する。
リサイクルの推進。
下水に排出しないこと。
付着容器及び包装： 関連法規並びに自治体の基準に従って処理する。
リサイクルの推進。

14. 輸送上の注意

国連番号(UN No.): 1263 塗料又は塗料関連物質(マニキュア)
国際規制
海上規制情報 IMOの規定を準拠する。

Proper Shipping Name: Paint related materials

	Class:	3
	Packing Group:	II
	Marine Pollutant:	Not Applicable
航空規制情報	ICAO/IATAの規定を準拠する。	
	Proper Shipping Name:	Paint related materials
	Class:	3
	Packing Group:	II
国内規制		
陸上規制情報	消防法、道路法の規定を準拠する。	
海上規制情報	船舶安全法の規定を準拠する。	
	品名:	塗料関連物質(マニキュア)
	クラス:	3
	容器等級:	II
	海洋汚染物質:	非該当
航空規制情報	航空法の規定を準拠する。	
	品名:	塗料関連物質(マニキュア)
	クラス:	3
	容器等級:	II

15. 適用法令

消防法 危険物第四類
労働安全衛生法 危険物(引火性のもの) 有規則(第2種有機溶剤)

16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。記載内容は情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。製品の取り扱い方法は、ご使用者が各自の責任においてこの情報を参考にして決定して下さい。